



ニュースリリース

平成20年10月28日

高精度・非接触表面粗さ形状測定機 「LPS5000」のJIMTOF出展について

株式会社東京精密(代表取締役社長:藤森一雄)は、先に技術提携した三鷹光器 株式会社のレーザープローブセンサーを採用した非接触表面粗さ形状測定機「LPS5000」を第24回 日本国際工作機械見本市(JIMTOF2008)(2008年10月30日~11月4日)に参考出展します。

「LPS5000」は従来の測定触針式では傷が付いてしまうレンズやICチップなどのハンダ形状などの軟質材、工作機械用バイトの刃先の様な光沢のある鋭利な形状など従来非接触測定が困難とされていた物を対象にした非接触表面粗さ形状測定機で、触針式の測定結果との高い整合性を特長としています。

従来の非接触センサーは素材や形状によって測定値のバラツキが大きく、触針式との整合性も十分ではありませんでした。東京精密は本製品の開発を足掛りに接触式と非接触式との整合性を取り、国際標準機の規格認定を目指して参ります。

東京精密は、お客様の検査室用の測定機から現場計測まで幅広い測定に関する様々なニーズに対応するために製品ラインアップを強化して参ります。



主な仕様

検出器部 (Z方向)

- ・ 検出方式 レーザープローブ方式
(オートフォーカス付き)
- ・ 測定範囲 10mm
- ・ 分解能 1nm
- ・ スポット径 1 μ m (100倍レンズ使用時)

以上

株式会社東京精密

東京都三鷹市下連雀9-7-1 〒181-8515 TEL. 0422-48-1011